

Visual Studio スタータ

Ver 1.0.0.2

1. 概要

Visual Studio (以下 VS と略す) のバージョンを判断し、適切なバージョンの Visual Studio を開始します。

Microsoft Visual Studio Version Selector では、バージョンを判定し、該当する VS を起動してくれます。

例えば、VS2019 と VS2022 がインストールされている場合、ソリューションファイル(.sln)をダブルクリックすると、ソリューションを作成した VS を起動してくれます。

但し、アップグレードしたソリューション(.sln)をダブルクリックしても、アップグレード前の VS が起動されてしまいます。

例えば、VS2019 で作成したソリューションを VS2022 へアップグレードした場合でも、VS2019 が起動されてしまいます。

このような場合でも、本ツールをセットアップすれば、アップグレード後の VS2022 が起動されるようになります。

2. セットアップ手順

VsSelect.zip ファイルを解凍すると、以下の2つの.zip ファイルが作成されます。

- ・ VsSelectSetup.zip (セットアップ用)
- ・ VsSelectProject.zip (ビルド用ソリューションとソースプログラムファイル(VisualStudio 2019 用))

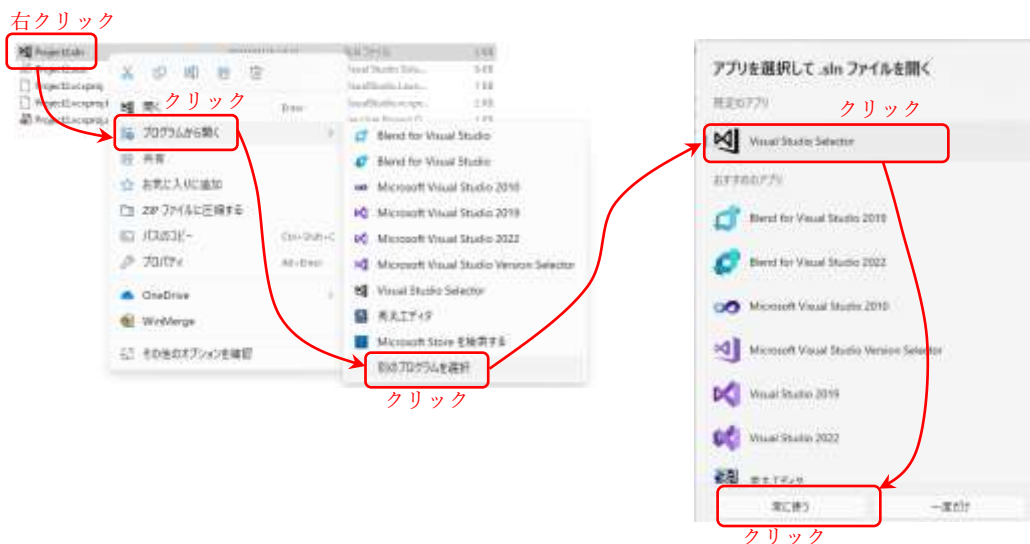
さらに、VsSelectSetup.zip を解凍すると、以下のファイルが作成されます。

- ・ setup.exe
- ・ VsSelSetup.msi


setup.exe を実行 (ダブルクリック) するとインストールが開始されます。

あとは、画面の指示に従ってください。

インストールが終了したら、.sln ファイルの関連付けを行います。(いずれかの .sln ファイルを右クリックし、以下のように設定します)



3. VS 起動方法の設定

デスクトップ上のショートカット () をダブルクリックすると以下の画面が表示されます。



インストール時に、既定のフォルダ (C:\Program Files や C:\Program Files (x86)) にインストールされている VS が表示されます。

既定のフォルダ以外にインストール済の VS がある場合は、devenv.exe、あるいは、devenv.exe が格納されているフォルダをドロップすると追加できます。

①をチェックすると、ソリューションファイル(.sln)フォルダの下に作成された .vs フォルダ下のファイル(.suo を除く)を削除します。

また、.vs フォルダの3つ以上 下位のサブフォルダも削除します。

※ .vs フォルダは、VS2015 以降の VS で暗黙的に作成されるフォルダですが、一部では「定期的に削除すべし」という方もいますが、定かではありません。
.vs フォルダは、削除してもまた VS によって作成されるようです。



②と③は、ソリューション(.sln)フォルダ下に .vs フォルダがある場合の VS (VS2015 以降) の起動方法を指定します。

③を選択した場合は、.vs フォルダ下に作成されたバージョン番号を示すフォルダ名(vnn)から、起動する VS を決定します。

③を選択した場合は、常に、右のコンボボックスで指定した VS を起動します。

④と⑤は、は、ソリューション(.sln)フォルダ下に.vs フォルダが無い場合の VS (VS2013 以前) の起動方法を指定します。

④を選択した場合は、以下のようなコンボボックスで、起動する VS を選択します。



⑤を選択した場合は、常に、右のコンボボックスで指定した VS を起動します。

<注意> 1. 本ツールを使用する場合は、ソリューションフォルダ下の .vs フォルダを削除してはなりません。

2. ②を選択した場合でも、未来の VS(ex. VS2024 等)では、機能しない場合が発生する可能性があります。

(VS2019~VS2022 では動作チェック済ですが、VS2015~VS2022 では機能するはず！)

4. ビルド用ソリューションとソースプログラムファイル

VsSelectProject.zip を解凍すると、以下のフォルダが作成されます。

フォルダ名		内容	
<ul style="list-style-type: none"> ▼ VsSelectProject <ul style="list-style-type: none"> ▼ VsSelect <ul style="list-style-type: none"> Doc ▼ Project <ul style="list-style-type: none"> ▼ VsSelect <ul style="list-style-type: none"> > AjrCstXX > bin > VsSel > VsSelExec > VsSelInstall > VsSelUninstall > VsSelSetup 	Doc	ドキュメント（本書）	
	Project	AjrCstXX	ツール（AjrCst32.dll）のインクルードファイル
		bin	バイナリファイル（.exe, .dll, .lib）
		VsSel	Visual Studio スタータ メインプログラム
		VsSelExec	Visual Studio 起動処理プログラム
		VsSelInstall	インストール時のカスタム動作プログラム
		VsSelUninstall	アンインストール時のカスタム動作プログラム
	VsSelSetup	インストーラ作成プロジェクト	

上記のフォルダには、本プログラムをビルドするのに必要なすべてのファイルが含まれます。（詳細な内容は割愛します）

Visual Studio 2010 以降の VS で、プログラムの改造や、再構築、インストーラ作成が可能です。

ツール（AjrCst32.dll）については、以下の URL を参照してください。

<https://www.ne.jp/asahi/ajara/kojara/ajrctl32.htm>

5. 問い合わせ先

本ソフトウェアに関するお問い合わせは、件名の先頭を「Ajara:」として、以下のメールアドレスにて受け付けます。

xxxajarakojara@kk.email.ne.jpxxx

[注] 先頭と末尾の「xxx」は削除してください。

「@」は、全角となっていますので、半角に訂正してください。

※ 不在の場合、返信が遅れる場合がございますが、ご了承ください。